



仲の町夜さくら 雲井道中の図

歌川国貞 (二代)
安政6年12月 (1859)

花かがみ

HANA-KAGAMI

発行人/小笠原 誓 発行所/名古屋園芸株式会社
〒460-0005 名古屋市中区東様2-18-13 tel.052-931-8701
http://nagoyaengei.co.jp/

25 3

名古屋園芸

門出を祝う花



information

NHK「趣味の園芸」出演のお知らせ・・・小笠原 誓

*『あでやかに咲く！日本の春花物語』

放送日：Eテレ 3月9日 (日) 8:30~
(再放送) 3月14日 (金) 14:10~

江戸時代の「本草図譜」や「絵本野山草」に掲載されたミヤコフスレ、スマシ、スズランなどの春の植物を紹介し、これらの植物の由来、江戸時代の愛でられ方、現在の園芸品種や育て方、飾り方を解説します。

*『べらぼうな花たち』

放送日：Eテレ 3月16日 (日) 8:30~
(再放送) 3月21日 (金) 14:10~

今年のNHK大河ドラマ「べらぼう〜篤重栄華乃夢噺〜」に関連し、「趣味の園芸」では月に1回「べらぼうな花たち」のコーナーを放送します。3月16日はサクラ、4月20日はボタン、5月11日はツツジをテーマに小笠原が担当します。

information

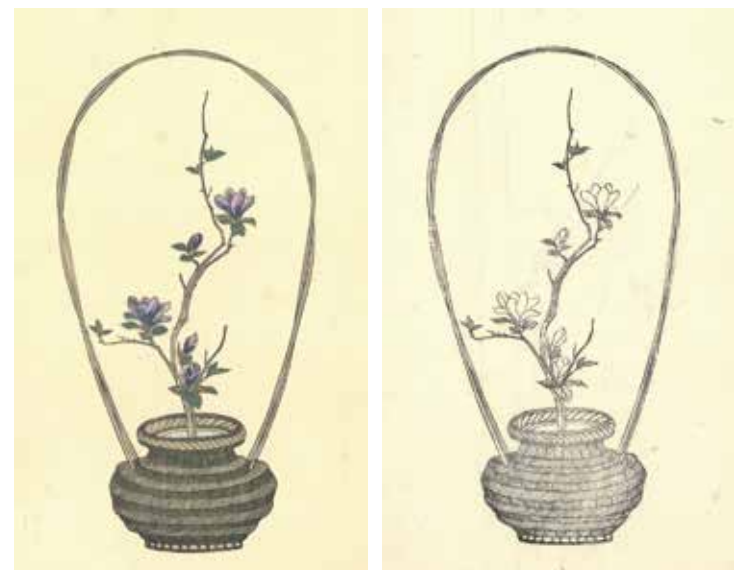
新芽を楽しむ カエデ

秋の紅葉の主役といえばカエデの木ですが、実は春の芽生えのシーズンにも魅力がたくさんあります。葉の切れ込みの深さや葉片の長さ、新芽ならではの鮮やかな色までもが品種によって実に様々で、徐々に新芽を展開しながら個々の特徴を表現してくれます。

3月初めより、1階店頭にて「カエデ展」を開催します。本展では約50種類のカエデが店頭に揃います。コレクションに最適なミニ盆栽サイズの鉢が多数入荷します。それぞれの個性を比べながら新芽の動きを観察してみてください。きっとお気に入りのカエデが見つかることでしょう。



【カエデ展】
開催期間：3月前半開始予定
開催場所：一階店頭



大正版

文政版

花の博物館

第350回

不朽の名作『挿花百規』

池坊専定家元四十世選
文政3年(1820)

小笠原 誓

専定の生花の作品集です。四糸派の画家松村景文とその弟子横山清暉が絵を描いており、専定の代にはほぼ今の生花の原型が確立されたと考えられます。
池坊のホームページには、『七つの役枝を「立てる」立花が普及する一方、小間や数寄屋に「生ける」軽やかな花も関心を集めるようになり、抛入(なげいれ)花とも呼ばれていました。元禄10年(1697)に専定が校閲した『古代生花図巻』は、当時の抛入花の様子をよく示しています。18世紀の中頃、池坊専純の代になると、抛入花は格調高い姿に整えられ、生花(じょうか)と呼ばれるようになりました。』
『文政3年(1820)には、技巧に走りがちとなっていた生花の正しい姿を示すことを目的として、専定の生花100図を取めた『挿花百規』が刊行され、池坊の生花の方向性が定まりました。』と表記されています。
当文庫に架蔵する『挿花百規』には「前池坊専定」と記され、門弟と思われる和州の方の名前が書かれ、万延二年に求めたようです。内題は「専定挿花百式」と書かれています。この本は墨版のみですが、版木が残っていたようで、大正13年(1924)宇治山田：挿花百規刊行会)に色彩木版として再発行されました。乾・坤2帖に50図ずつ描かれています。
架蔵する文政3年版と大正13年版の各図を照合しましたが、6図がそれぞれの版との違いがみられましたが、理由は不明です。異本との校合が必要と思われる。

=花の講座のご案内=

講座番号9『はじめての花あそび』
4/15 5/20 6/17 7/15 8/19 9/9
全6回講座 (火) 10:30~11:30

全く花に触れたことのない方でも大丈夫！気軽に花あそびを始めてみませんか？花びん活け、花束、アレンジと6回に分けてゆっくりお話しします。

- *材料費：3,300円 (税込) 各回
- *講習費：6,600円 (税込) 6回分
- *講師：川越 永美子



講座番号27『ゼラニウムのハンギングバスケット』
4/4(金) 10:30~11:30

人気のゼラニウムを使って華やかなハンギングバスケットを作ります。ヨーロッパの街角のような素敵な花飾りが出来上がります。
*材料費：6,600円 (税込)
*講習費：1,100円 (税込)
*講師：近藤 綾香



◇お申し込みは
花の講座専用電話 TEL: 052-937-3391
受付時間 月~金曜日 10:00~17:00
Webからもお申込みできます！

名古屋園芸 検索

こちらからもどうぞ



ミモザ ~mimosa~



ミモザのアレンジメント ¥4,400 (税込)

ミモザはマメ科アカシア属の総称で、代表的な品種にはギンヨウアカシアやフサアカシアがあります。日本では特にギンヨウアカシアが一般的です。花言葉には「感謝」や「友情」など、心温まる意味が込められています。

明るく華やかなミモザは季節の変わり目にぴったり。3月のギフトには、幸せを感じるミモザを添えて、心温まるひとときを贈ってみてはいかがでしょうか。



ミモザのブーケ ¥5,500 (税込)

ゼラニウムはじまりますよ

3月はゼラニウムの出荷が本格的にはじまります。数年前までは秋の9月、10月にも状態の良いゼラニウムがたくさん流通していましたが、ここ数年は夏から続く高温期間が長いので、状態の良いゼラニウムの秋の出荷がなくなっています。春の出荷も本来なら3月から5月前半までありましたが、今年は1月から始まっています。

ゼラニウムだけではなく、夏から秋の高温の影響で植物の生育も変化が見られます。その中でも3月からは素敵なゼラニウムがたっぷり入荷します。最近一般的なゼラニウム(ゾナル系)とアイビーゼラニウムを掛け合わせたハイブリッド系が多く出回ります。花も大きく、花持ちも良く、暑さにも強い良いところだらけのハイブリッドです。特にカリオペ・ダークレッドという品種はゼラニウムの中でも圧倒的人気で、濃い赤と花の大きさに圧倒されます。

また、プリティリトルピンクもおすすです。株が広がらずコンパクトにまとまり、次々と花が咲いて見た目も抜群です。



ゼラニウム プリティリトルピンク
株が乱れずコンパクトにまとまりながらも抜群の花つきです。

名古屋園芸としてはこの2品種がおすすです。庭にも植えられ、鉢植えでももちろんOK、寄せ植えの花材としても楽しめるオールマイティなゼラニウムです。名古屋の夏は今年も暑くなると思いますので、鉢植えは7月後半から9月後半までは半日陰での管理をおすすします。真夏と真冬以外はしっかりと花を楽しむことができます。ぜひ楽しんでいただきたい名古屋園芸おすすの花です。